



国際貢献

国際機関



世界のHIV／エイズ情報や
各種報告書の提供等



資金拠出

日本



- UNAIDSは、国際的にエイズ対策を推進する専門的な国連機関
- 10国際機関が共同スポンサー

世界エイズ・結核・マラリア対策基金

- ▼ 世界基金は、2000年のG8九州沖縄サミットが契機となり、エイズ・結核・マラリアの三大感染症対策のために、2002年に設立された
- ▼ 日本はこれまでに約12億9千万ドルを拠出している（現時点）
- ▼ 本年9月のMDGs首脳会合において当面最大8億ドルの拠出を行うことを約束

● 主要国の拠出状況（2010年11月現在）

	誓約金額※	拠出期限（年）	現在までの拠出	拠出順位
米国	95.5億ドル	2001-2013	51.3億ドル	1位
フランス	39.7億ドル	2001-2013	22.2億ドル	2位
日本	20.9億ドル	2001-当面	12.9億ドル	3位
ドイツ	20.8億ドル	2001-2013	12.5億ドル	4位
欧州委員会（EC）	16.6億ドル	2001-2013	12.0億ドル	5位
英国	22.6億ドル	2001-2015	11.9億ドル	6位
総額（上記以外含）	300億ドル		181.6億ドル	

※第3次増資期間（2011～2013年）向けの誓約金額を含む

世界基金が果たした役割

- 世界基金による支援全体の約6割は、エイズ対策のために使われており、また、世界のエイズに対する支援の約2割を世界基金が占めている
- 世界基金は途上国による三大感染症対策を効率的に支援し、顕著な成果を上げている



世界基金の資金を受けたプログラムにより、

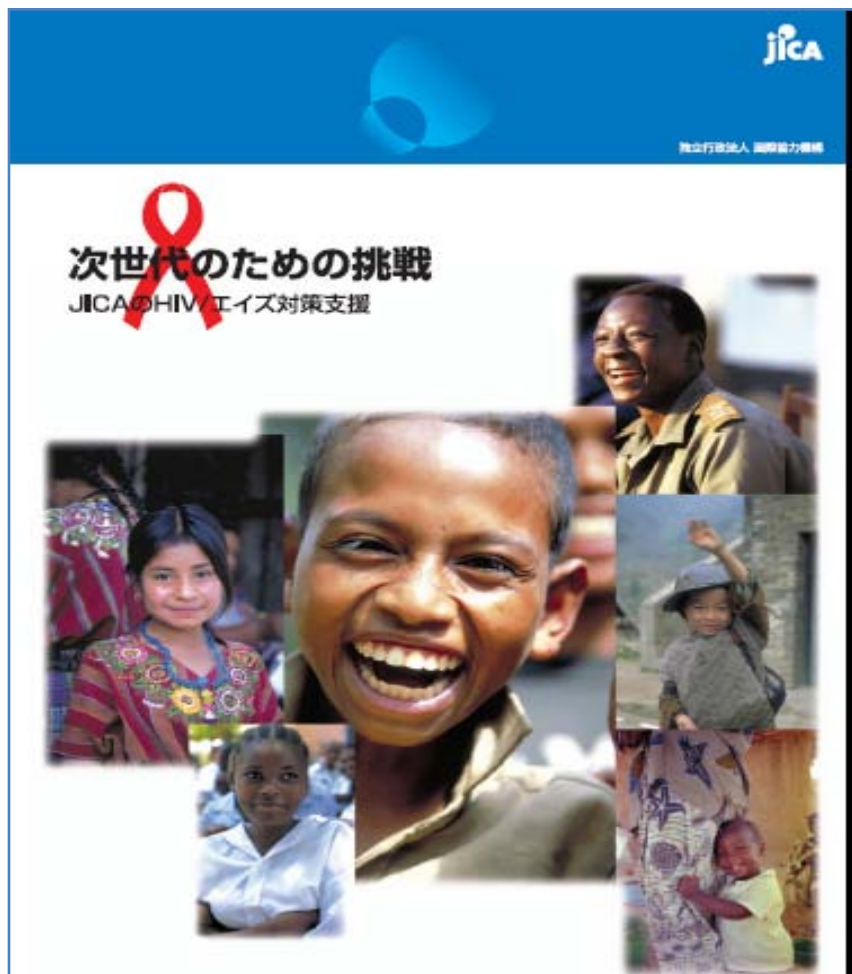
- ▼ 250万人に抗レトロウイルス治療を提供
- ▼ 79万人のHIV陽性妊婦に母子感染予防の治療、エイズ遺児やエイズによって困難な環境におかれている子どもたち延べ450万人に基本的なケアとサポートを提供
- ▼ 延べ1億500万人にHIV予防のための自発的カウンセリング・検査を提供し、18億個のコンドームを配布

(2009年12月末現在)



二ヶ国間援助

—国際協力機構(JICA)による技術協力—



出典：JICA, 次世代のための挑戦
JICAのHIVエイズ対策支援、2008年5月

活動領域：

- HIV感染予防、包括的な自発的カウンセリング検査サービスの強化、治療体制整備支援、HIV/エイズと共に生きる人々・家族等へのケアサポートの強化、保健医療全般のシステムの強化によるHIV/エイズ対応能力の向上

具体的支援活動：

- 青年海外協力隊エイズ隊員の派遣
- HIV/エイズに関するプロジェクトの実施（教育、感染予防、HIV/エイズおよび結核対策、検査ネットワーク、輸血血液の安全確保 等）